

第16期（令和5年度）事業報告書

特定非営利活動法人子どもの環境を守る会Jワールド

令和5年4月1日～令和6年3月31日

第16期 令和5年度 事業報告書 目次

ページ 1～4	事業の成果 (第16期 令和5年度)	令和5年度
ページ 5～6	事業の実施に関する事項	令和5年度
ページ 7～8	各事業の計画に対する実績	令和5年度
ページ 9	各事業の計画 (令和6年4月1日～令和7年3月1日)	令和6年度
ページ 10	正会員・賛助会員の推移	令和5年度
	【別紙】 決算報告書	第16期令和5年度
ページ 11	財務諸表の注記	
ページ 12	貸借対照表	
ページ 13～14	財産目録	
ページ 15	固定資産原価償却内訳明細書	
ページ 16～17	活動計算書	
ページ 18～21	勘定科目残高内訳表	
ページ 22	監査報告書	

1 事業の成果

・令和5年度は、7月に理事長が三浦輝江から、7月に野中美幾子に変更となった。その後、8月に共同代表制へ移行し野中美幾子、三浦輝江、山田和恵の3名が共同代表理事となった。それにより、多岐に渡る活動にお互いの経験を活かし最善の対応を進める事ができてきている。

・松戸市教育長講演会、ボランティア証明書授与式を開催。

ユース事業

・ユーススペースは放課後の中高生の居場所として毎週月曜日から金曜日の16時から19時まで開催。ゲーム、バンド、勉強、レジンや手芸等、様々なツールも用いながら、誰でも話ができる安心できる居場所作りを行った。

・コロナ対策が緩和されて、食事をすることができるようになり、同じ場所で行われている子ども食堂開催日はユーススペースにも参加者が増加傾向。

・毎日のように利用する中学生、予告なく立ち寄る大学生等、リピーターが多い。

・12月クリスマス会、2月にチョコレートパーティを実施。

・ユーススペースで育った高大生数名が、学習支援事業でのボランティアスタッフとして活躍した。

ゲットユアドリーム事業（松戸市委託事業）

・6回のゲットユアドリームで、計55名（第六中学校：15名、新松戸南中学校：10名、第四中学校：10名、旭町中学校：5名、小金南中学校：11名、根木内中学校：4名）延べ人数（重複あり）の講師の方々にお話しいただき、中学生たちに様々な価値観や職業観に触れ将来について考える場を提供できた。

・今回も学校と連携したことにより、多くの中学生たちに将来について考える機会を提供することができた。アンケートによると講師のお話やグループワークにより、将来についてのアドバイスや励ましを受けとれた等の感想があった。

学習支援事業（松戸市委託事業）

・令和5年度は、昨年度に引き続き火・木コースのみの開講であった。水曜日は居場所のみの時間とし、月・金もJワールド独自の居場所を開設し、いつでも来られる子どもの居場所づくりを目指した。

<学習面>

今年度は昨年度と打って変わって中3生の利用が多く、スタッフも2年ぶりに受験生対応に本腰を入れることとなった。関わる中で感じたのは、自分自身と向き合うのに時間がかかり、受験生としての自覚を持ってもらったり、勉強に向き合ってもらったりすることに非常に苦勞した。叱咤激励をするだけでは、響かない利用者が多くなってきており、声かけのしかたや、接し方に工夫が必要となっている。

いろいろ試した中で、有効だったのは「とにかく励ます」こと。私たちの基準からすれば「こんなにほめていいのだろうか」というくらい励まし、さらにスモールステップ（例：5問ずつで区切って◎つけをして、励ましていく）でケアをしていくことの必要性を感じた。利用者の保護者も、勉強しない利用者に不安を覚え、きつい言葉を投げかけてしまうなど、我が子への接し方に悩まれている方もおり、利用者への支援だけでなく、保護者の方々へのフォローも行っていく必要性を痛感している。

<居場所づくり>

コロナが5類になるにあたり、利用人数の回復を期待したが、思ったよりも回復が遅く、こちらもどのようにしていくか、悩みながらの運営となった。単発のイベントなどもやってみたが、定着には至らず、私たちもコロナ以前はどうだったかを見据えて、スタッフで意見を出し合った。その結果「やはり、食べることで、子どもたちの心を開くよね」という意見が出た。そのことを訴えたところ、フードバンクからの寄付や、利用者、スタッフからのおかしや飲み物をいただき、カフェテリア形式で提供したところ、非常に喜び、利用者が思っていること、考えていることを話してくれる場が復活し、利用者も少しずつではあるが回復の兆しを見せ始めている。

やはり、コロナ禍で、人とのコミュニケーションが分断されており、私たちが積極的に関わる必要があると感じている。もちろん、コロナ禍であっても、同世代や、友人とのコミュニケーションは最低限担保できても、異世代交流、多世代交流といった面においては、家族以外でのリアルな機会がなく、子どもたちはそのような大人（お兄さん、お姉さん）に飢えていると感じた。大人って、怒るばかりじゃない、叱るときは叱るけど、彼らの味方なんだよ、というメッセージを伝え続けていき、ひとりでも多くの方が、学習支援を通して自己肯定感を回復し、ありのままの自分を大切にできる大人に成長してほしい。今年度感じた知見を活かし、子どもたちの支援に邁進していく。

中高生の居場所づくり（松戸市委託事業）

今年度より居場所の開催を毎週月曜金曜の週二回に増やして開催した。月曜日の開催時間に中高生は集まらなかったが、小学生が何名か定着して毎週遊びに来ている。金曜日は前年度より定着している学生たちの口コミで体育館開催時間には20名位の利用者が毎週来

ている。新型コロナウイルス感染症対策緩和により先輩と語る座談会およびクリスマスイベントのイベントも開催した。人員不足のため今年度で中高生の居場所作り事業は終了。

ボランティア事業

コロナ感染症も緩和してきたことで、食堂のお手伝い、学習支援や居場所支援のボランティアのために沢山の学生が見学に来た。見学に来た学生が理念に共感し、ボランティアに参加してくれた。

おやこ DE 広場旭町（松戸市委託事業）

<おやこ DE 広場旭町>

- ・コロナが5類になったことから、イベントの開催をコロナ前の形態に戻し、たくさんの利用者さんと賑やかに楽しめるようにした。ランチタイムも再開した
- ・おもちゃの消毒は引き続きおこなっている。
- ・ママパパ学級三日目、赤ちゃん教室が再開となり、広場で開催した。
- ・ふれあい体験は、旭町中学校、古ヶ崎中学校の二校で開催した。
- ・イベント時にシルバー人材センターのボランティアを通し、シルバー世代と交流をした。
- ・懸念事項だった広場のジョイントマットを防災タイプのものに入れ替えた。

<子育てコーディネーター>

- ・相談は、妊婦から、保育園に入る前までの短い期間での利用だが、保育園入園についての相談が多かった。
- ・妊娠8ヶ月時の面談を希望する妊婦の委託事業が始まった。
- ・馬橋西高齢者いきいき安心センターと、ダブルケアをしている家庭に届くように連携するとともに、地域資源の一つとしてイベントを利用者に紹介し、とても好評だった。

子育て支援事業

<子育て支援子育てセミナー>

- ・2023年9月からセミナーという形よりも、お母さんたちが自由に話したり、創作活動（リース作り、レジْنَアクセサリー作りなど）をしたいと言うニーズがあり、居場所作りや親子で安心して過ごせる場の提供へと変更した。
- ・参加者のお母さんたちが、創作活動の講師として立ってくださり、提供する側としての活動の場が与えられ、生き生きと楽しめる姿が印象的だった。

<リトミック>

- ・コロナも5類になり少しずつ参加者が増え、毎月参加者5～8組の親子が参加するようになった。
- ・松戸市のLINEで親子DE広場のお便りが掲載され、それを見て予約する人が多く、SNSを活用した方が地域の人に情報を届けられることが分かった。
- ・参加者にピアノ伴奏を依頼、参加者、スタッフが一緒になって開催でき、ママの居場所となっている。

リバちい事業

専用の居場所が資金不足のため確保できず、ユーススペースを利用した活動へ移行。人員不足も重なり火曜日週1回に活動を限定。主にスマイルプログラム事業（松戸市委託事業）を中心に活動する。

ひかりテラス事業

- ・松戸市教育委員会との協働事業により、青少年会館のロビーを借りて、2022年8月より開始して毎週月曜日に開所。2023年4月より、青少年スペースが月曜日開催となったため、小中高生を対象にした子どもたちの居場所の開催時間を11:00-よいこのチャイムから、11:00-15:00に変更した。ドコモ市民活動団体助成事業の助成金により運営しているが、毎月子どもたち数名が利用するにとどまっていた。
- ・不登校児童のための居場所として、保護者のための居場所としてカフェも併設して注力していたが、学校から不登校児童の保護者に案内して頂いたものの、利用にはなかなか至らず、スタッフ、ボランティアの人材確保も難しいため、松戸市教育委員会との協議の上、2023年8月をもって事業を終了した。

普及啓蒙事業

活動報告として「Jタイムズ」を4月に発行し、賛助会員、支援関連機関、学校関係などに発送した。

2. 事業の実施に関する事項 第16期

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の 平均人数	受益対象者の範 囲および人数	支出額 (千円)
① ユース事業 (ユースペース)	中高生の居場所の開催	毎月 20回	SRCビル 2F多目的ホール	2人	中高生 のべ640 人	49
② ゲットユアドリーム 事業	様々な職業について いる人生の先輩から 話を聞き、将来につ いて考えるワークショ ップの開催。	年6校	松戸市立中学校	20人 (講師9人 含む)	中学生 6校988人	925
③松戸市子どもの学習 支援事業	小中学生に勉強を教 えるだけでなく、居場 所としての機能を持 ち、学力向上を通し、 自立する力を養う。	小中学生 火・木	SRCビル 2F 多目的ホール	10人	のべ1,057人 (学習支援) のべ122人 (居場所)	7,869
④松戸市中高生の 居場所づくり事業	中高生の見守りを行 い、必要に応じ学習 相談や進路相談に応 じる。	毎週 月金曜日	松戸市青少年会 館 第3週目以外 (1Fロビー、3F和 室および体育館)	3人	のべ1,409人	2,660
⑤J ボランティア事業	中学・高校、大学生を 対象としたボランティ ア活動。	随時	SRCビル 2F	2人	大学生12人 高校生7人	0
⑥松戸市地域子ども・子育て 支援事業 (おやこDE広場 旭町)	乳幼児・親子の集い の場所を提供する。	月 17回	松戸市 シニア交流 センター3F	3人	のべ2,548人	5,061
⑦松戸市地域子ども・ 子育て支援事業 (子育てコーディネーター)	おやこ DE 広場開催 時、子育ての相談、 子育て支援サービス の紹介、子育て支援 機関との連携。	月 17回	松戸市 シニア交流 センター内	1人	松戸市および 近隣の市民 のべ180人	2,334
⑧子育て支援事業 (ママカフェ)	親子の居場所作り	月1回 金曜日	SRCビル 2F 多目的ホール および 3F	15人	松戸市及び近隣 の市民(49人) ZOOM参加者	57

子育て支援事業 ミック)	(リト乳幼児が心身共に健康になり、親とのスキンシップの時間を持ったための企画・運営(リズム体操など)	月1回 金曜日	SRCビル 2F 多目的ホール	7人	未就園児および その保護者 のべ110人	子育て支援事業に 含む
⑨リバちい事業 (子どもの未来応援基金を含む)	松戸市子どもの自立支援事業(スマイルプログラム)の委託を中心に行う。	毎週火曜日	新松戸 4-256-1 SRCビル2F ユースペース又は訪問	3人	のべ52人	69
⑩ひかりテラス事業 (ドコモ市民活動団体助成事業)	保護者と中高生のための居場所を開催。	毎週月曜日(休館日除く)	松戸市青少年会館 1Fロビー	3人	生徒、保護者合わせてのべ 3名	409
⑪普及啓発事業	各事業についてのHPを開設しチラシ配布等により活動内容を紹介する。	随時	SRCビル 2F 多目的ホール	2人	不特定多数	0
⑫共通本会計						2,927

計 22,360 千円

※千円未満切り捨てのため、
支出欄の合計と総計は一致し
ません。

3. 令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日） 【計画】 → 【実績】

事業名	計画/実績 実施日	計画/実績 実施場所	計画/実績 従事者の平均人数	計画/実績 受益対象者の 範囲及び人数	計画/実績 収入の部（千 円）	計画/実績 支出の部（千 円）
①ユース事業	月20回	SRCビル2F 多目的ホール	2人	延べ：中学・ 高校生 (1,000名)→ 640名	0→0	15→49
②ゲットユアドリーム事業	年6回	松戸市立中	30名→40人 (講師22名 含む)	(1,070)→ 中学校6校 988人	1,070→ 1,070	920→925
③学習支援事業	中学生180 日 小学生 90日	SRCビル2F 多目的ホール	10人	延べ： (1,400名) →1,057 人,122人(居 場所)	9,939→ 9,422	8,590→ 7,869
④中高生の居場所づくり	週1回(年 間50回)	青少年会館	3人	小・中・高生 (1,600人) →1,409人	3,207→ 3,207	2,800→ 2,660
⑤Jボランティア事業	随時	SRCビル2 階、青少年 会館	3人～5人 (オンライ ン)→2人	延べ：中 学・高校生 (100名)→大 学生12人高 校生7人	15→1	5→0
⑥おやこDE広場旭町 (松戸市委託事業)	月17回	シニア交流 センター内	3人	延べ： (2,300名) →2,548	5,203→ 5,209	4,079→ 5,061
⑦子育て支援 コーディネーター	月17回	シニア交流 センター内	1人	延べ：(160 名)→180名	2,466→ 2,466	2,334→ 2,334
⑧子育て支援事業 (ママカフェ)	月1回 金曜日	SRCビル2階 及び3F	20人	延べ：松戸市 及び近隣の市 民(50名)→ 15名	20→59	20→32
⑨子育て支援事業 (リトミック)	月1回不定 期	SRCビル2階 及び3F	4人	未就園児(20 名)親含む→ 15名	6→26	6→25
⑩リバちい事業(子どもの 未来応援基金を含む)	月4回 10:00- 20:00	リバちい相 談	8人	不特定多数	135→0	130→69
⑪ひかりテラス事業(ドコ モ市民活動団体助成事業)					0	2→409
⑫普及啓発事業	随時	SRCビル2F 多目的ホール	3人	不特定多数	0	25→0
事業収益収支					22,061→ 21,486	20,144→ 19,443
会費・入会金収入					700→370	
補助金及び助成金収入・寄付金収入					500→550	

その他					281	2,600→ 2,927
収支総合計					23,261→ 22,687	22,744→ 22,360
当期経常額						327

第17期 令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日） 【計画】

事業名	計画 実施日	実施場所	計画 従事者の平 均人数	計画 受益対象者の 範囲及び人数	計画 収入の部（千 円）	計画 支出の部（千 円）
①ユース事業	月20回	SRCビル2F 多目的ホー ル	2人	延べ：中学・ 高校生 (1,000 名)	0	30
②ゲットユアドリーム事業	年6回	松戸市立中	30名	中学生 (1,000名)	1,087	988
③学習支援事業	中学生90日 小学生90日	SRCビル2F 多目的ホー ル	10人	延べ： (1,400名)	9,479	8,696
④Jボランティア事業	随時	SRCビル2 階、青少年 会館	3人～5人	延べ：中 学・高校生 (100名)	15	5
⑤おやこDE広場旭町 (松戸市委託事業)	月17回	シニア交流 センター内	3人	延べ： (2,300名)	5,305	5,006
⑥子育て支援 コーディネーター	月17回	シニア交流 センター内	1人	延べ： (160名)	2,420	2,273
⑦子育て支援事業 (子育てセミナー)	月1回 金曜日	SRCビル2階 及び3F	20人	延べ：松戸市 及び近隣の市 民(50名)	24	24
⑧子育て支援事業 (リトミック)	月1回不定 期	SRCビル2階 及び3F	4人	未就園児(20 名)親含む	6	6
⑨リバちい事業(スマイル プログラム)	月1回火曜 日10:00- 17:00	SRCビル2階	3人	不特定多数	137	10
⑩普及啓発事業	随時	SRCビル2F 多目的ホー ル	3人	不特定多数	0	25
経常収支					18,473	17,038
会費・入会金収入					1,000	
補助金及び助成金収入・寄付金収入					700	
その他(管理費等)						2,000
収支総合計					20,173	19,038
						1,135

9 県庁以

正会員・賛助会員数推移

		正会員	賛助会員	計
平成20年度	会員数	28	11	39
	会費	54,000	72,000	126,000
平成21年度	会員数	26	12	38
	会費	53,000	59,000	112,000
平成22年度	会員数	26	7	33
	会費	53,000	33,000	86,000
平成23年度	会員数	24	16	40
	会費	52,000	77,000	129,000
平成24年度	会員数	26	28	54
	会費	54,000	147,000	201,000
平成25年度	会員数	28	33	61
	会費	61,000	393,000	454,000
平成26年度	会員数	31	38	69
	会費	71,000	321,000	392,000
平成27年度	会員数	31	110	141
	会費	70,000	646,000	716,000
平成28年度	会員数	20	103	123
	会費	61,000	536,000	597,000
平成29年度	会員数	20	106	126
	会費	68,000	583,000	651,000
平成30年度	会員数	17	80	97
	会費	59,000	360,000	419,000
平成31年度	会員数	23	72	95
	会費	79,000	352,000	431,000
令和2年度	会員数	26	65	91
	会費	94,000	276,000	370,000
令和3年度	会員数	26	82	108
	会費	103,000	343,000	446,000
令和4年度	会員数	25	67	92
	会費	83,000	332,000	415,000
令和5年度	会員数	25	55	80
	会費	96,000	274,000	370,000

収 入 分 配